

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東
 コード番号 7228 URL http://www.daytona.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)織田 哲司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)杉村 靖彦 (TEL)0538(84)2200
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	4,631	2.2	291	△4.2	307	8.3	207	13.9
28年12月期第3四半期	4,529	4.5	304	44.2	283	40.1	182	55.6

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 207百万円(13.6%) 28年12月期第3四半期 182百万円(71.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	98.60	96.57
28年12月期第3四半期	86.58	85.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	5,197	2,331	44.5
28年12月期	4,235	2,149	50.5

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 2,310百万円 28年12月期 2,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年12月期	—	0.00	—		
29年12月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	6,120	1.9	330	△22.1	330	△20.4	220	△19.4	104.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期3Q	3,604,600株	28年12月期	3,604,600株
29年12月期3Q	1,497,972株	28年12月期	1,497,972株
29年12月期3Q	2,106,628株	28年12月期3Q	2,105,992株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による金融政策、大手企業業績の堅調な推移、有効求人倍率の上昇等、緩やかな回復基調が持続しております。また、海外経済においては、米朝関係の緊張感の高まりが懸念されるものの、引き続きアメリカ経済の堅調な推移やアジア諸国の安定した経済成長等による好況が持続している状況です。

二輪車業界では、バイクツーリングシーズンが春から秋にかけて最盛期を迎え、今年も天候に恵まれ、各地で多くのライダーの姿を見かけるとともに、用品店への客足は昨年と同様順調に推移しております。

当社グループにおいては、国内拠点卸売事業は海外向け卸売売上高の減少やM&A関連費用の計上により、売上高及びセグメント利益は前年同四半期を下回りました。小売事業は売上高は前年同四半期を下回りましたが、経費の削減施策により利益が改善し、前年同四半期のセグメント損失からセグメント利益の計上に転じております。アジア拠点卸売事業は売上高が前期から引き続き好調であり、売上高及びセグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は46億31百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は2億91百万円（前年同四半期比4.2%減）、経常利益は3億7百万円（前年同四半期比8.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億7百万円（前年同四半期比13.9%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業では、ツーリング関連用品を中心とした国内向け販売が順調に推移しましたが、北米向け販売の減少により売上高は前年同四半期に比べ微減となりました。また、今期は、M&Aによる成長のための投資費用が発生したこともあり、セグメント利益は前年同四半期比で減少しております。この結果、売上高は31億39百万円（前年同四半期比1.5%減）、セグメント利益は2億37百万円（前年同四半期比25.0%減）となりました。

[アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業では、前年度に引き続きインドネシア市場での補修・消耗品の販売が伸長を続けており、売上高は3億57百万円（前年同四半期比266.1%増）、セグメント利益は44百万円（前年同四半期はセグメント損失0.3百万円）となりました。

[小売事業]

小売事業では、第2四半期累計期間に引き続き、車両販売事業や中古品販売事業が順調に売上を伸ばしております。一方、用品小売事業は近隣競合店やWEB通販との競争が続くなか、売上高は減少したものの、販管費の削減施策により利益は前年四半期と比べ改善方向に進んでおります。この結果、売上高は11億49百万円（前年同四半期比10.9%減）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期はセグメント損失19百万円）となりました。

[その他]

その他事業の一つである太陽光発電事業は、前年に建設した静岡県沼津市の太陽光発電システムが加わったことにより、売上高・利益ともに前年同四半期を上回りました。もう一つのその他事業として、本年5月よりインターネット上によるオートバイ中古部品・用品の売買に特化した仲介及び販売事業（リユースWEB事業）を開始しました。こちらは、まずはユーザー獲得のために、販売手数料無料期間を設け、アプリダウンロード数や出品商品の増大を重要課題として推進しております。この結果、その他事業における売上高は59百万円（前年同四半期比62.8%増）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期比75.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ44.5%増加し、32億45百万円となりました。これは、現金及び預金が5億4百万円、受取手形及び売掛金が1億86百万円、たな卸資産が2億3百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1.9%減少し、19億51百万円となりました。これは、無形固定資産が19百万円増加しましたが、有形固定資産が56百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ9億62百万円増加し、51億9百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ21.0%増加し、17億84百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2億99百万円、短期借入金が73百万円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ77.0%増加し、10億82百万円となりました。これは、長期借入金が4億82百万円増加したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億81百万円増加し、28億66百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8.5%増加し、23億31百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月2日付で発表しました、「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」以降、当第3四半期累計期間においても、おおむね予想の範囲での推移となっております。しかしながら今後の為替の状況や二輪車の特性からの天候による影響、また、経済環境の不確定要因により、業績への影響が発生する場合があります。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	384,783	889,397
受取手形及び売掛金	538,322	724,461
たな卸資産	1,177,105	1,380,599
その他	151,997	257,681
貸倒引当金	△6,106	△6,374
流動資産合計	2,246,103	3,245,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	628,868	609,179
土地	864,305	863,962
その他(純額)	413,134	377,001
有形固定資産合計	1,906,308	1,850,143
無形固定資産	54,507	74,497
投資その他の資産		
その他	28,957	28,148
貸倒引当金	△805	△805
投資その他の資産合計	28,152	27,343
固定資産合計	1,988,968	1,951,984
資産合計	4,235,071	5,197,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	162,673	461,931
短期借入金	933,492	1,006,602
未払法人税等	105,685	62,758
賞与引当金	21,024	54,567
その他	251,464	198,587
流動負債合計	1,474,340	1,784,448
固定負債		
長期借入金	562,495	1,044,920
退職給付に係る負債	655	755
その他	48,108	36,526
固定負債合計	611,259	1,082,201
負債合計	2,085,600	2,866,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	341,182	341,182
利益剰余金	2,150,562	2,322,467
自己株式	△747,130	△747,130
株主資本合計	2,157,071	2,328,976
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△17,741	△18,545
その他の包括利益累計額合計	△17,741	△18,545
新株予約権	10,136	20,434
非支配株主持分	5	234
純資産合計	2,149,471	2,331,100
負債純資産合計	4,235,071	5,197,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,529,444	4,631,320
売上原価	2,797,739	2,831,693
売上総利益	1,731,704	1,799,626
販売費及び一般管理費	1,426,967	1,507,784
営業利益	304,737	291,842
営業外収益		
受取手数料	7,944	7,063
試作品等売却代	5,626	12,216
その他	7,742	8,788
営業外収益合計	21,313	28,068
営業外費用		
支払利息	9,842	7,569
為替差損	28,374	3,286
その他	4,105	1,653
営業外費用合計	42,322	12,508
経常利益	283,728	307,402
特別利益		
固定資産売却益	625	1,974
特別利益合計	625	1,974
特別損失		
固定資産除却損	22	70
事業譲渡損	979	-
賃貸借契約解約損	1,074	-
特別損失合計	2,076	70
税金等調整前四半期純利益	282,277	309,306
法人税、住民税及び事業税	122,460	125,294
法人税等調整額	△22,549	△23,937
法人税等合計	99,911	101,356
四半期純利益	182,366	207,950
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	232
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,346	207,717

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	182,366	207,950
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△27	-
為替換算調整勘定	61	△807
その他の包括利益合計	34	△807
四半期包括利益	182,400	207,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,380	206,913
非支配株主に係る四半期包括利益	19	229

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月24日 定時株主総会	普通株式	31,569	15.0	平成27年12月31日	平成28年3月25日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月23日 定時株主総会	普通株式	35,812	17.0	平成28年12月31日	平成29年3月24日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,129,345	72,418	1,291,418	4,493,182	36,261	4,529,444	—	4,529,444
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57,887	25,301	70	83,259	—	83,259	△83,259	—
計	3,187,232	97,719	1,291,489	4,576,441	36,261	4,612,703	△83,259	4,529,444
セグメント利益又は損失 (△)	317,038	△346	△19,227	297,464	8,645	306,110	△1,372	304,737

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,372千円には、セグメント間取引消去111千円、たな卸資産の調整額△1,987千円、固定資産の調整額500千円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,080,808	341,919	1,149,535	4,572,263	59,056	4,631,320	—	4,631,320
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,427	15,872	151	74,451	—	74,451	△74,451	—
計	3,139,235	357,792	1,149,686	4,646,715	59,056	4,705,772	△74,451	4,631,320
セグメント利益	237,704	44,856	7,235	289,796	2,133	291,930	△87	291,842

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益の調整額△87千円には、セグメント間取引消去△183千円、たな卸資産の調整額197千円、固定資産の調整額△101千円等が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。